

令和元年度 第1回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和元年5月29日(水) 午後2時00分から午後3時40分

場 所 鎌ヶ谷市役所地下1階 団体研修室

出席者 黒岩史郎会長、菊地謙副会長、江間由紀夫委員、渡辺浩隆委員、鳥居律子委員、松村桂子委員、小川洋委員、山本幸子委員、村田セツ子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、西出信夫委員、會澤奈穂子委員、早坂ひとみ委員、石塚友子委員、林宏幸委員(鎌ヶ谷市社会福祉課長)、館岡文委員(鎌ヶ谷市健康増進課主幹)、  
関係者 飯田裕乃(サポートネット鎌ヶ谷)、狩野秀二(なしねっと)  
欠席者 高橋貴子委員、山根清孝委員、金田一正史委員、井手勝則委員、三浦健委員  
事務局 (障がい福祉課) 星野障がい福祉課長、遠藤善治課長補佐、星直子庶務係長、中村浩主査補、鈴木俊雄  
(鎌ヶ谷市基幹相談支援センターえがお) 渡辺恵美子所長、馬場武士

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

・ 式次第

令和元年度鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会委員一覧

平成30年度障害福祉サービス・障害児通所支援等の計画と実績値

平成30年度地域生活支援事業の計画と実績値

平成30年度相談支援事業の実績(サポートネット鎌ヶ谷・なしねっと・基幹相談支援センター)

鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会組織図

- ・ テーマ別チーム第3回会議協議内容の整理(案)
- ・ 地域生活支援拠点等の整備について～不足機能の対応～
- ・ 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の年間スケジュール(全体)
- ・ 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会「本会議」年間予定

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数(17名)が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

<委嘱状交付>

障がい福祉課長より鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会(以下「協議会」という。)委員の委嘱状を交付した。続いて委員全員の自己紹介を行った。

<会長・副会長の選出>

委員より、会長に黒岩史郎委員、副会長に菊地謙委員の推薦あり。全員異議なし。

## 会長・副会長挨拶

会長

お忙しい中お集まりいただいたことに感謝申し上げます。前年度に引き続き会長を務めさせていただくので皆様のご協力をお願いしたい。

副会長

昨年度より「中核地域生活支援センター事業（※1）」を受託しているが、鎌ケ谷市については未だ分からないことも多い。是非皆様のご協力をお願いしたい。

※1 中核地域生活支援センター事業：こども、障がい者、高齢者を含めた全ての地域住民を対象とした地域生活支援の民間の拠点として位置づけられ、24時間・365日体制で地域生活支援・相談・権利擁護といった地域総合コーディネートの機能を担う。千葉県地域福祉支援計画に基づく千葉県独自の事業。

## 平成30年度相談支援事業（※2）の実績報告について

※2 相談支援事業：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という）に基づく「地域生活支援事業」の中の市町村実施事業の1つ。鎌ケ谷市では、これを委託しており、『一般的な相談』を「サポートネット鎌ケ谷」と「なしねっと」が、『基幹相談支援センター』を「えがお」が、それぞれ実施している。

(1)障害者相談支援事業 サポートネット鎌ケ谷

平成30年度の実績について資料のとおり内容を説明した。

(2)障害者相談支援事業 なしねっと

平成30年度の実績について資料のとおり内容を説明した。

会長

只今の説明について質疑があればお願いしたい。

委員

なしねっとの報告について、支援内容「就労に関する支援」の29件は就労できた件数か、またはその途中の状態か。

なしねっと

就労ができた件数ではなく、相談支援の内容が就労に関するということで件数に計上している。

会長

鎌ケ谷の相談支援体制の課題として、身体障がい者の一般相談について弱点がある。一般相談の役割として、支援が難しい困難ケースや計画相談に乗る前の支援をするということだった。基幹相談支援センターが設置され、そういった機能を担っていくとしたら一般相談の存在の意義を改めて示さなくてはいけない段階になってきている。例えば、重複障がいの方をどのように支援していくのか、支援が難しい方をどのようにカバーしていくのか。そういったことも今後、協議会で議論していきたい。また、今後は件数の報告だけで

なく、特徴的な事例の報告もしてもらいたい。

(3) 基幹相談支援センター えがお

平成30年度の実績について内容を説明し、口頭にて事例を説明した。

会長

只今の説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

第5期鎌ヶ谷市障がい福祉計画・第1期鎌ヶ谷市障がい児福祉計画（※3）の平成30年度の実績報告について

※3 第5期鎌ヶ谷市障がい福祉計画・第1期鎌ヶ谷市障がい児福祉計画：障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき障害福祉サービス及び障害児通所支援等の種類ごとに必要なサービス量の見込みを示した計画。本計画は平成30年度から令和2年度までを対象としている。

事務局より「平成30年度障害福祉サービス・障害児通所支援等の計画と実績値」「平成30年度地域生活支援事業の計画と実績値」について説明した。

会長

只今の説明について質疑があればお願いしたい。

委員

基幹相談支援センターの実績報告では「地域移行・地域定着」99件となっているが、市役所の実績報告では0件となっている。この関係性について説明をお願いしたい。

事務局

市役所の実績カウントは、障害福祉サービスとして相談支援事業所から請求があり実際に支払いをした件数となっている。基幹相談支援センターでの相談の件数は含まれていない。

委員

カウントについては了解だが、何年もこの件数が0件のままとなっていると思う。今後の改善の予定などを教えて欲しい。

事務局

地域連携部会のテーマ別チームに「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討」チームがあり、そのチームの課題として取り上げられているので、チームと協力しながら今後具体策を検討していきたい。

会長

計画相談を行う相談支援事業所は増えてきているが、セルフプランからの移行状況を教えて欲しい。

事務局

セルフプランの割合は1割に満たない。

委員

1割という数値は障がい者全体からみた割合か。

事務局

障害福祉サービスを利用する方の中での割合である。

委員

セルフプランの方には相談支援事業所に計画を依頼するように行政からもより一層促して欲しい。

委員

相談支援事業所は足りているのか。

会長

どこもいっばいで新規が受けられない状況だが、新設の事業所には少し余裕があるかもしれない。

#### 地域連携部会テーマ別チームの検討状況の報告及び提案について

事務局より「鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会組織図」について説明した。

「障がい分野の情報を発信・啓発する」チームリーダーより研修についての提案説明。

高畑チームリーダー

支援者側の理解が足りなく、障がい者と支援者の間にずれが生じているのではないかと。障がい者は何もできないという偏見で支援者がすべてやってしまい、自分はできるのにと思っている障がい者もいる。そういう支援者の気づきを促す研修を実施したいと考えている。講師の費用などもかかるので、是非協議会の研修として承認していただきたい。

会長

講師費用も含め自立支援協議会の研修とすることに賛成の方は挙手をお願いしたい。

全会一致で承認

会長

それでは、研修については「障がい分野の情報を発信・啓発する」チームを中心に進めてもらいたい。

#### 地域生活支援拠点等の整備について

事務局より「地域生活支援拠点等の整備について～不足機能の対応～」について説明した。

会長

只今の説明について質疑があればお願いしたい。

委員

緊急時の受け入れについては、身体・知的・精神の3障がい全ての種別が対象か。

事務局

全ての障がい者が対象である。

会長

社会福祉法人優幸会からの選出委員もいるので、補足説明などあればお願いしたい。

渡辺委員

それでは、説明させていただく。緊急時の受け入れは、全ての障がい種別を対象としており、障がい児にも対応したいと考えている。定員としては、全体で8名、男女4名ずつで計画している。設備面についてはバリアフリー対応としたいと考えている。

委員

医療的ケアにも対応できるのか。

渡辺委員

看護師の人材が整い次第対応する予定ではいる。

会長

緊急時の受け入れ・対応について、この計画で賛成の方は挙手をお願いしたい。

全会一致で承認

その他

事務局より「鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会「本会議」年間予定」「鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の年間スケジュール（全体）」について説明した。

会長 以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和元年7月18日

氏名 黒岩 史郎 \_\_\_\_\_

氏名 飯高 優子 \_\_\_\_\_